

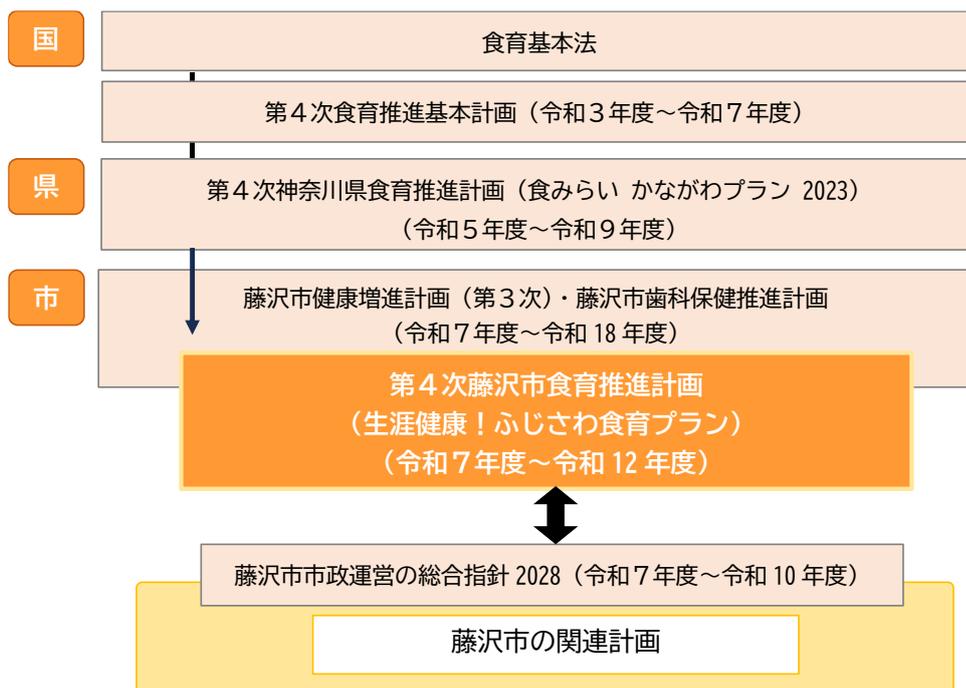
第4次藤沢市食育推進計画の策定について（中間報告）

1 趣旨

本市では、市民一人ひとりが生涯健康であるために、自分に適した食生活を送る力を育むことができるよう、平成21年3月に「藤沢市食育推進計画」、平成26年3月に「第2次藤沢市食育推進計画」、令和2年3月には「第3次藤沢市食育推進計画」（以下「第3次計画」という。）を策定し、家庭、地域、学校、企業、行政等、様々な関係機関が役割を分担し、連携を図りながら食育の推進に取り組んできました。第3次計画の計画期間が今年度で終了することから、現状や課題などを踏まえ、これまでの取組について評価・見直しを行い、新たに「第4次藤沢市食育推進計画（生涯健康！ふじさわ食育プラン）」（以下「本計画」という。）を策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、食育基本法第18条に基づく市町村食育推進計画として位置づけ、国の「第4次食育推進基本計画」、県の「第4次神奈川県食育推進計画」及び本市の「藤沢市市政運営の総合指針」をはじめとする、その他の計画とも整合性を図り、さらにSDGsの理念を踏まえて策定します。



3 計画期間

本計画の期間は、令和7年度から令和12年度までの6年間とします。
これは、藤沢市健康増進計画（第3次）の計画期間が令和7年度から令和18年度の12年間であり、計画の評価及び内容について整合性を図るものです。

4 計画策定のポイントと計画の概要

本計画の策定にあたっては、大目標は第3次計画から継続しつつ、近年の環境課題への関心の高まり等も踏まえて、重点目標を「健康的な食生活」と「持続可能な食事・食生活」の2つにまとめ、さらに新たな視点を取り入れながら施策展開を図ることとしました。

また、展開にあたっては、各関係機関・団体等と連携し、各世代の特性と課題に応じた取組を行うとともに、市民の取組を支援できるような食環境整備をめざします。

(1) 大目標

市民一人ひとりが生涯健康であるために、自分に適した食生活を送る力を育む

(2) 重点目標

重点目標1 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進

市民一人ひとりが健やかで心豊かに生活できるようにするためには、生活習慣の中でも健全な食生活の実践がとても重要です。ライフステージやライフスタイル、多様な暮らしに対応し、切れ目のない生涯を通じた食育を推進します。

重点目標2 持続可能な食を支える食育の推進

健全な食生活を送るためには、その基盤となる持続可能な環境が不可欠です。和食文化の継承や地産地消、食品ロス削減等の取組は、地域活性化や環境負荷低減に寄与することが期待されます。食に対する感謝や食べ物を大切にする気持ちを育むことにより、環境に配慮した食生活を実践できるような食育を推進します。

(3) 新たな視点（デジタル技術やナッジ理論の活用）

重点目標1及び2の達成に向けた取組の実施にあたり、仕事や子育て、介護等で忙しく、健全な食生活を実践しにくい世代や、健康に関心が向きにくい人も無理なく実践できるよう、デジタル技術やナッジ理論（人々がより良い選択を自発的にとれるように手助けする手法）を取り入れた食育を推進します。

5 第4次藤沢市食育推進計画（素案）

資料2参照

6 策定の経過及び今後のスケジュール

令和5年度	第3次藤沢市食育推進計画の最終評価アンケート実施
令和6年 7月	第1回藤沢市食生活対策推進協議会
令和6年 8月	藤沢市食生活対策推進協議会委員へ意見聴取
令和6年10月	第2回藤沢市食生活対策推進協議会
令和6年11月	パブリックコメントの実施（11月18日～12月17日）
令和6年12月	藤沢市議会定例会厚生環境常任委員会にて素案を報告
令和7年 1月	第3回藤沢市食生活対策推進協議会
令和7年 2月	藤沢市議会定例会厚生環境常任委員会にて最終案を報告
令和7年 3月	第4次藤沢市食育推進計画策定

以上

（事務担当 健康医療部健康づくり課）